



2017年12月22日

各 位

新華ホールディングス・リミテッド  
(URL : [www.xinhuaholdings.com](http://www.xinhuaholdings.com))  
代表者名 最高経営責任者 (CEO)  
レン・イー・ハン  
連絡先 (東証市場第二部 コード番号 : 9399)  
経営企画室マネージャー  
高山 雄太  
(電話 : 03-4570-0741)

## 当社グループの再編について

新華ホールディングス・リミテッド（以下「当社」又は当社の子会社及び関連会社を含め総称して「当社グループ」といいます。）は、現在、事業を行っていない一部の子会社を売却することにより、当社グループにおいて過去に発生した負債を減らし、当社グループの財政状態を改善することを目的として、以下のとおり当社グループを再編（以下「本再編」といいます。）することを決定しましたのでお知らせします。なお、本再編をこのタイミングで開始することを決定したのは、当社が2017年11月1日付のプレス・リリース「当社の定時株主総会、商号の変更及び定款の一部変更に関するお知らせ」にてお知らせした商号変更と合わせ、当社グループを再編したいと考えているためです。

### 1. 本再編の概要

当社の子会社である新華ファイナンス・ジャパン株式会社（以下「XFJ」といいます。）、新華ファイナンス・ネットワーク・リミテッド（上海）（以下「XFNSH」といいます。）及び新華ファイナンス・ネットワーク・リミテッド（北京）（以下「XFNBK」といいます。）の持分、並びに当社の持分法適用会社である北京華声・ファイナンス・インフォ・アンド・テック・カンパニー・リミテッド及び北京華声・ファイナンス・インベストメント・カンパニー・リミテッド（以下、総称して「関連会社」といいます。）の持分<sup>1</sup>を新華ファイナンス・ネットワーク・リミテッド（以下「XFNHK」といいます。）から、新華ホールディングス（香港）リミテッド（以下「XHLHK」）に譲渡した上で、XFNHK及びその子会社として残るGMSエデュケーション・カンパニー・リミテッド（以下「GMS」といいます。）を売却し、関連会社を清算する予定であります。

本プレス・リリースの最後に挿入の当社グループ図（本再編前・本再編後）を併せてご参照ください。

<sup>1</sup> 関連会社の持分をXFNHKからXHLHKに譲渡する手続は既に開始しており、本プレス・リリースの「3. 本再編の内容」に記載のとおり関連会社を清算する手続も近日中に開始する予定です。



2. 本再編に係る子会社及び関連会社の基本情報

(2017年12月22日時点)

名称	住所	主要な事業の内容	議決権に対する 当社の所有割合 (注2)	資本金	当社との関係
新華ファイナンシャル・ネットワーク・リミテッド (XFNHK)	香港、上環	金融情報サービスの提供 (注1)	100%	1,464,766.68 香港ドル	連結子会社
新華ホールディングス (香港) リミテッド (XHLHK)	香港、上環	設立以来なし (注1)	100%	10,000.00 香港ドル	連結子会社
新華ファイナンス・ジャパン株式会社 (XFJ)	日本、東京都、港区	金融情報サービスの提供 (注1)	100% (100%)	10,000,000.00 円	連結子会社
新華ファイナンシャル・ネットワーク (上海) リミテッド (XFNSH)	中華人民共和国、上海、盧湾区	金融情報サービスの提供 (注1)	100% (100%)	10,750,000.00 米ドル	連結子会社
新華ファイナンシャル・ネットワーク (北京) リミテッド (XFNB, J)	中華人民共和国、北京、朝陽区	金融情報サービスの提供 (注1)	100% (100%)	2,550,000.00 米ドル	連結子会社
GMSエデュケーション・カンパニー・リミテッド (GMS)	韓国、ソウル市	学習進学塾の運営 (注1)	70% (70%)	100,000,000.00 韓国ウォン	連結子会社
北京華声・ファイナンシャル・インフォ・アンド・テック・カンパニー・リミテッド (関連会社)	中華人民共和国、北京、石景山区	ニュース及びコンサルタントの提供	49% (49%)	20,410,000.00 人民元	持分法適用会社
北京華声・ファイナンシャル・インベストメント・カンパニー・リミテッド (関連会社)	中華人民共和国、北京、朝陽区	プロジェクト投資及び投資コンサルタントの提供	33.32% (33.32%) (注3)	15,000,000.00 人民元	持分法適用会社

(注1) 現在、事業を行っておりません。

(注2) 議決権に対する提出会社の所有割合の括弧 ( ) 内は、間接所有割合で内数です。

(注3) 北京華声・ファイナンシャル・インフォ・アンド・テック・カンパニー・リミテッドの北京華声・ファイナンシャル・インベストメント・カンパニー・リミテッドに対する直接の保有割合は、本プレス・リリースの最後に挿入の当社グループ図 (本再編前) に記載のとおり、68%となります。

3. 本再編の内容

上記の子会社及び関連会社の持分の譲渡が完了した後、当社グループは、XFNHK及びGMSをセットで一緒に売却する計画であります。

直近の2017年9月30日付の財務諸表を基に算出すると、XFNHK及びGMSを売却することにより、売却による対価以外に現金の収入・支出などを伴わない会計上の処理として、当社グループは負債を約1.8百万米ドル(201百万円)減らし、総資産も約0.05百万米ドル(6百万円)減る見込みであり、上記の負の純資産(上記の負債と総資産の減少額の合計(約1.7百万米ドル=1.8百万米ドル-0.05百万米ドル)及び非支配株主持分の減少0.2百万米ドル)を除外することにより、特別利益を約1.9百万米ドル(218百万円)計上する見込みです。参考として、2017年9月30日付の当社グループの負債合計額(上記の1.8百万米ドル(201百万円)の減額前)は、10.1百万米ドル(1,127百万円)でした。当社の連結財務諸表への予想される主な影響は、上記の負債の減少及び特別利益の計上であり、負債の減少により当社グループは連結の財政状態を改善することができます。XFNHK及びGMSの売却により、除外される負債は、主に同社らにおいて過去に発生した未払費用、買掛金及び未払金等となります。

なお、上記の2017年9月30日付の財務諸表を基に算出した予想数値には、当該子会社らの売却に係る費用(売却先を見つけるための費用及び売却手続に係る諸費用)は含まれておらず、同社らをセットで一緒に売却した場合に当社が受取る対価は名目的な価格である1米ドルであることを前提としております。これは、次の段落に記載しているとおり、XFNHK及びGMSを売却することは難しいと考えているためです。また、上記の予想数値は、売却のタイミングにより、当該子会社にて更に発生した費用やその時点における為替レートにより変動します。そのため、実際に売却した場合の影響額は、上記の予想数値と大きく異なる場合があります。

XFNHK及びGMSは全体として債務超過であるため、当該子会社らに対価を得て売却することは難しい状況であり、現時点では売却先の候補もありません。ただ、当社としては、清算に係る費用や時間を回避したいと考えているため、まずは同社らをセットで一緒に最低入札価格の1米ドルの対価にて譲受けてもらえる第三者の売却先を探す努力をしたいと考えております。具体的には、香港にて同社らを1米ドル以上で売却したい旨及び同社らの概要、要約財務諸表やその他の客観的な情報などを新聞で公示し、1週間程度買手を募る予定です(以下「応募期間」といいます)。その上で第三者の売却先が見つからない場合は、当社のCEOであるレン・イー・ハン氏(以下「レン氏」といいます。)が同社らを1米ドルの対価で個人的に引受け、清算等の措置を取る予定です。応募期間中に買手の応募があった場合には当該買手と更に交渉を行います。買手の応募が全くなかった場合、応募期間を過ぎましたら同社らを速やかにレン氏に売却する予定です。

そのため現時点では、XFNHK及びGMSの売却に要する時間を予測することが難しい状況です。またGMSについては、当社の前経営陣(当社グループの現経営陣の前の経営陣)が2012年にGMSを清算することを決議をしましたが、同社は韓国において未だに清算又は売却されていない状態です。前経営陣は既に全員辞任しており、現在、当社は過去の事情について限られた情報(GMSの過去の財務諸表、GMSの他の株主の氏名、また当時、当該株主が清算について反対していたことなど)しかない状況です。

なお、XFJは、引き続き日本における拠点として残ります。また、XFNSH及びXFNBKについては、中国における拠点が必要となる可能性があること、また同社らを清算又は売却した後に中国で同社らの資本金の規模の新会社を設立することが容易ではないため、当面、当社グループが同社らについて新たな決定をするまで中国における子会社として残す予定です。

関連会社については、その持分を第三者に売却することは難しい状況であるため、当該関連会社のその他の出資者と合意の上(清算は元々当該その他の出資者からの提案)、当該関連会社の持分をXFNHKからXHLHKに譲渡する手続と同時に、当該関連会社を清算する手続も進める予定です。当該関連会社の中国



における清算手続には、1年～3年程かかる見込みであり、現在、当該関連会社の清算が当社の将来の業績に与える影響を予想することは難しい状況ですが、当該関連会社は近年継続して純損失を計上しているため、当該関連会社を可能な限り早く清算することは妥当であると判断しております。

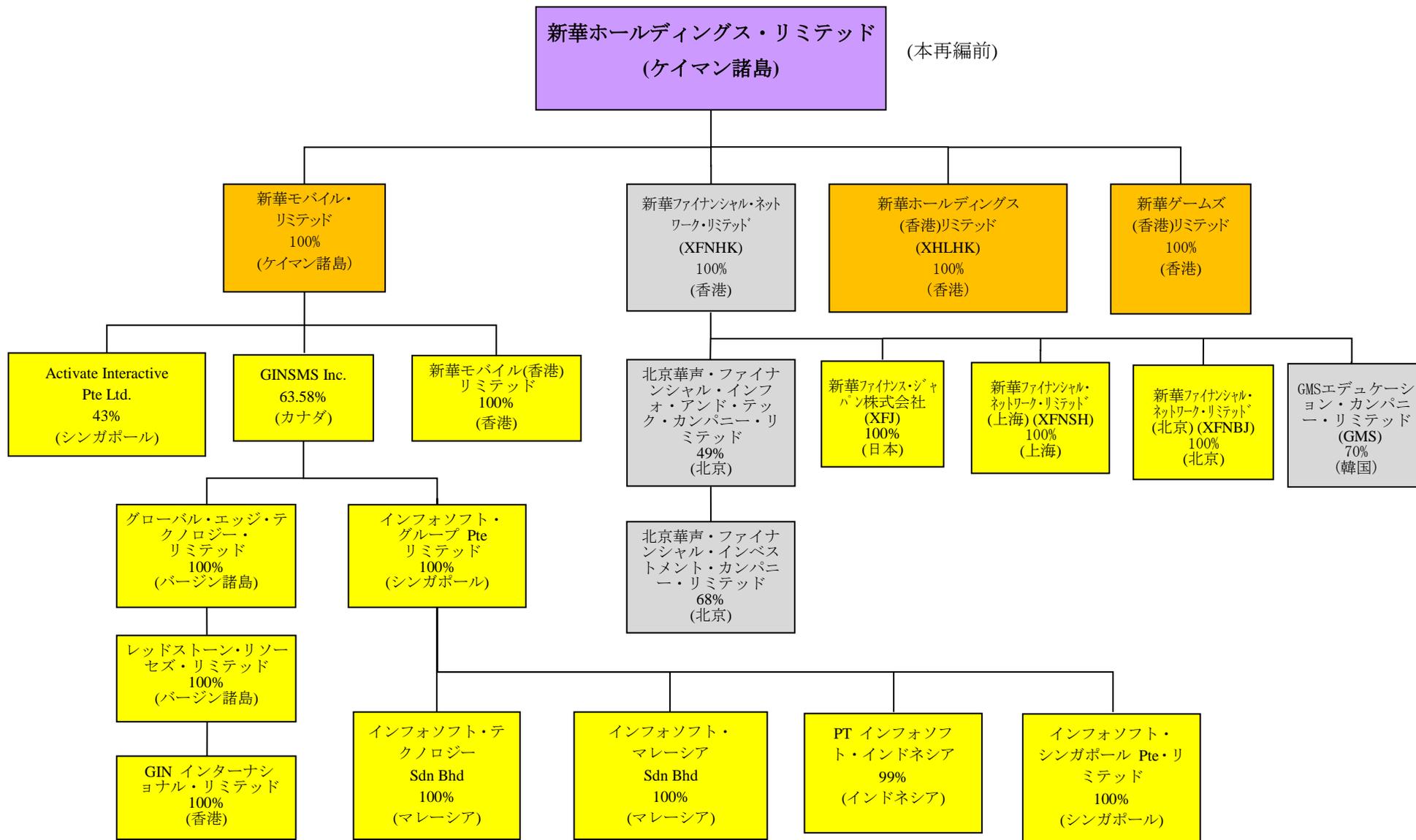
#### 4. 今後の見通し

上記の当社グループの再編のうち、子会社及び関連会社の持分譲渡が当社の業績に与える重要な影響はありません。また、当社の子会社の売却及び関連会社の清算が当社の業績に与える影響については、確定次第お知らせいたします。

(注) 適用為替レート：日本円で表示されている金額は、1米ドル=112.05円（2017年11月30日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の外国為替相場（仲値））にて換算しております。

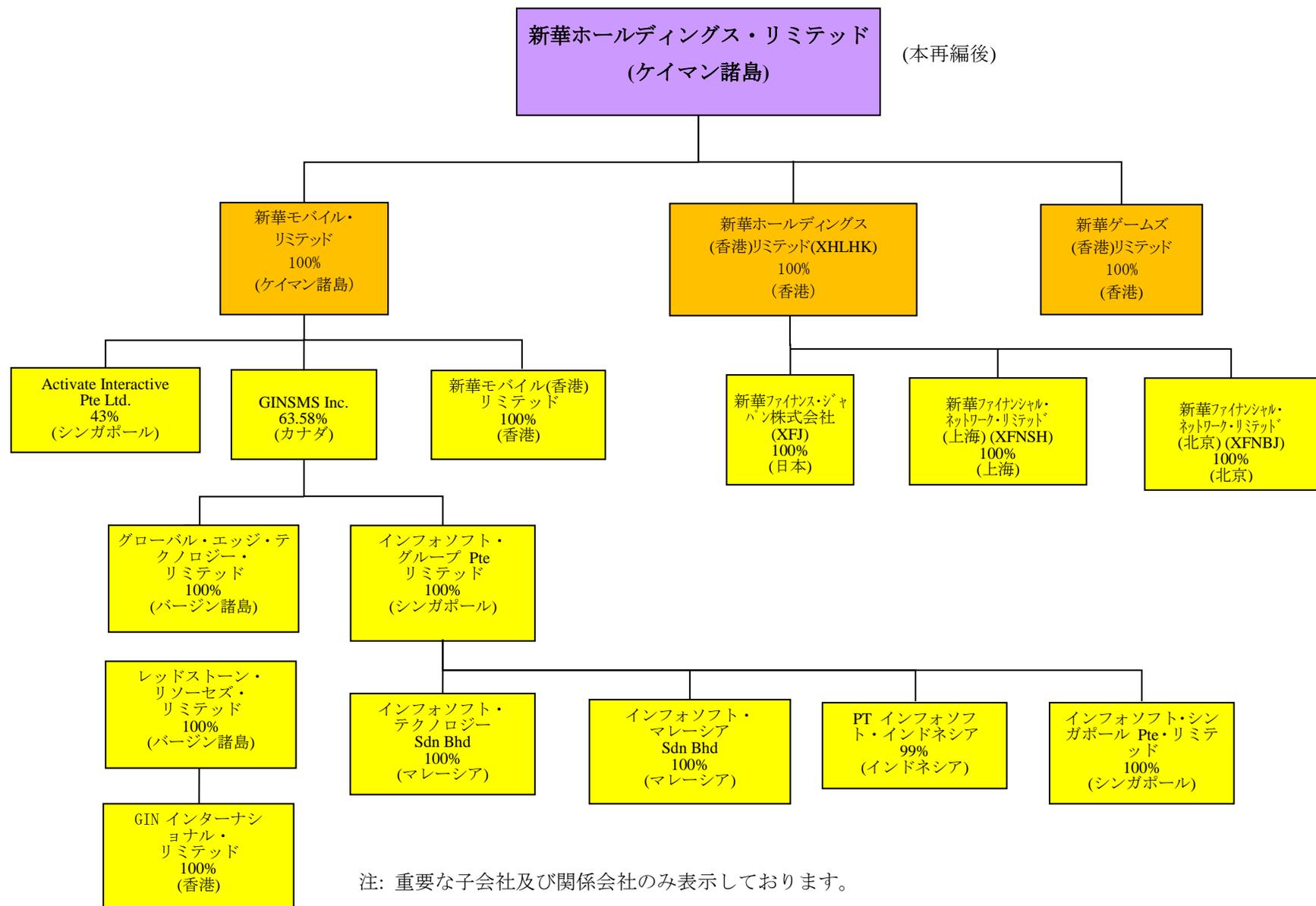
以上

次ページに当社グループ図（本再編前・本再編後）を挿入しております。



注: 重要な子会社及び関係会社のみ表示しております。

売却する予定の子会社は、グレーで表示しております。





#### 新華ホールディングス・リミテッドについて

当社、新華ホールディングス・リミテッドは複合的な事業を展開するグループ企業であり、主にシンガポール、中国及びその他のアジアの地域において事業を展開しております。当社は、A2P メッセージング・サービス並びにソフトウェア製品及びサービスを提供しています。また、ウェルネス・サービス、ヘルスケア・ウェアラブル端末、センサー、メディカル情報、データ分析を提供し、知的財産権及びその他の権利のライセンス事業も行っております。当社は、東京証券取引所の市場第二部に上場（証券コード：9399）しており、香港に事業本部を構え、グローバルなネットワークを有しています。

詳細は、ウェブサイト：<http://www.xinhuaholdings.com/jp/home/index.htm> をご参照下さい。

本文書は一般公衆に向けられたプレスリリースであり、当社株式の勧誘を構成するものではなく、いかなる投資家も本書の情報に依拠して投資判断を行うことはできません。当社株式への投資を判断する投資家は、有価証券報告書を含む提出書類を確認し、それらに含まれるリスク要因及びその他の情報を熟慮した上でかかる判断を行う必要があります。本書は多くのリスク及び不確定要素を含むいくつかの将来に関する記述を含んでいます。多くの要因が当社の実際の結果、業績または当社の属する産業に影響を与える結果、将来に関する記述で明示または黙示に示される将来の結果及び業績などとは大きく異なることがあります。